

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		蔵敷公民館事業費〔蔵敷公民館事業〕									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	4
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 蔵敷公民館					係	課長名		佐伯 芳幸		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2・5-3		
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書 (ページ)	35・110		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				芋窪・蔵敷地区に居住する市民の数(4月1日現在) 公民館の利用は地域で制限するものではないが、近隣住民の数とした。 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	地域で、学習の場に参加できる。				①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(4月現在) →						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤蔵敷公民館だよりの発行				①利用者連絡会等開催回数(利用連・利用懇・陶利連) ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤蔵敷公民館だよりの発行回数 →						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	10,131	10,095	10,162					
	成果指標	②の数値	人	① 1,466 ② 20,807 ③ 52	① 1,477 ② 20,807 ③ 53	① 1,661 ② 17,672 ③ 52					
	目 標	②の目標値									
指標の推移								目標値設定の考え方			
	活動指標	③の数値	①回	① 23回 ② 21回 ③ 4回 ④ 58.8% ⑤ 3回	① 18回 ② 18回 ③ 5回 ④ 58.8% ⑤ 3回	① 21回 ② 20回 ③ 4回 ④ 60.44% ⑤ 3回					
3 経費	事業費(実績)		円	10,938,057	11,630,994	8,546,706		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	10,639,797	11,338,884	8,291,099					
		特定財源	円	298,260	292,110	255,607					
		(うち受益者負担)	円	97,260	94,110	81,607					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,506,000	16,488,000	16,620,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	27,444,057	28,118,994	25,166,706						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和53年度										
	(2) 環境の変化										
昭和53年11月20日、市内4番目の公民館として開館、市民の生涯学習を目的としている。 平成27年10月からインターネットを利用した公共施設予約システム											

事業名称	蔵敷公民館事業費〔蔵敷公民館事業〕				
担当部署・課長名	中央公民館	課	蔵敷公民館	係	課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民から、「地域特性を活かした事業や、子ども達が施設に来るまたは主催したイベント事業に多く参加できるような取り組みをして欲しい」との意見が寄せられた。次年度から事業や講座実施の際に寄せられた意見等を企画・実施内容に取組んでいく。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） <table border="1"> <tr> <td>☒ 取り組んだ</td><td>取組手法：①②③⑤⑥（市報・市HP・フェイスブック・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより）</td></tr> <tr> <td>☐ 取り組まない</td><td> 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） </td></tr> </table> (2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市民の意見を取り入れながら、上位計画や重点目標との整合性、法令遵守を徹底する。 市民企画委員方式で実施する場合、新規の参加者を入れるなどして、新しい意見や違った視点・考え方を入れながらニーズの把握を図ることが必要である。	☒ 取り組んだ	取組手法：①②③⑤⑥（市報・市HP・フェイスブック・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより）	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
☒ 取り組んだ	取組手法：①②③⑤⑥（市報・市HP・フェイスブック・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより）				
☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 今後も、子育て世代対象の講座を実施していく予定であるが、ニーズにあったものを実施していくことができるか検討する必要がある。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 平成30年度は、親子で参加の形式であったが、今年度は対象を変更し、未就学～小学生の子どもを持つ親をメインターゲットとして企画を組んだ。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 事業（講座含む）内容の企画段階で、参加して欲しい層（ターゲット）を明確にしてから準備する事で、実施時間や内容、講師選考等の作業が合理的且つ明瞭になる。地域や時代背景を意識しながら公民館としてのニーズに应运えていく。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・主催事業や講座で新たな利用者（層）を開拓しながら、既存グループが会員を維持増加していけるように補助を強化していく。 ・主催講座については、青少年層、若者（子育て及び現役世代）が参加しやすいものを増やしていく。 ・既存グループの補助については、会員募集やグループをPRする機会を増やし、広報媒体なども作成する。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・新たな使用者（層）の獲得については、ニーズや参加（利用）しやすい環境（時間や内容）を精査しながら事業を企画していく。 ・既存の広報媒体に新たな取組としてPRが可能なものを追加し、制度として利用できるものを広く周知していく。				